

# 愛知県環境審議会水質・地盤環境部会（2021年度第1回）会議録

## 1 日時

令和3年11月5日（金）午後1時30分から午後2時35分まで

## 2 場所

愛知県環境調査センター 1階 第一会議室

## 3 出席者

### （1）委員

【オンライン出席】

井上部会長、浅川委員、榊原委員、田中委員、南委員、安田委員、石附専門委員、神野専門委員、武田専門委員、田代専門委員、宮崎専門委員、小林特別委員（代理：東海農政局農村振興部農村環境課山田課長）、築島特別委員、豊島特別委員（代理：中部経済産業局資源エネルギー環境部環境・リサイクル課吉岡課長）、永家特別委員（代理：第四管区海上保安本部警備救難部環境防災課大村課長）

（以上15名）

### （2）事務局

愛知県環境局：小野技監、加藤環境政策部長

水大気環境課：永井課長、原野担当課長、高橋課長補佐、後藤主任、城森主任、伊藤主任  
環境調査センター：内藤水環境部長

（以上9名）

## 4 傍聴人等

傍聴人 1名

報道関係者 なし

## 5 議事

- ・会議録の署名について、井上部会長が浅川委員と榊原委員を指名した。

### （1）諮問事項

- ・水生生物の保全に係る水質環境基準の水域類型の指定について  
資料1から資料3までについて、事務局から説明があった。

<質疑応答>

なし

## (2) 報告事項

- ・ 水質汚濁防止法に基づく化学的酸素要求量、窒素含有量及びりん含有量に係る第8次総量削減計画の達成状況等について

資料1から資料3までについて、事務局から説明があった。

### <質疑応答>

#### 【井上部会長】

資料4の8ページの図2で、今回初めてりんについては、目標値を達成できなかったということだが、その他、産業排水、生活排水の3つに区分して、COD・窒素・りんそれぞれの負荷量を見ると、COD・窒素については、産業排水、生活排水で、それぞれ目標値より2019年度実績が下回っていたが、りんについては目標値と2019年度実績が同じであった。これに対し、その他系はCOD・窒素・りんのそれぞれについて目標値を見ると、3つとも2014年度実績と目標値が同じ値であるのに対し、2019年度実績が増加している。COD・窒素は、産業排水系と生活排水系が目標値より上回って2019年度実績が減少したため、その他系の増加分を考慮しても、全体としては目標値を達成できたが、りんについては、産業排水系と生活排水系で目標値と2019年度実績が同じであったため、その他系が増加した分だけ達成できなかったと読める。

COD・窒素・りんのその他系が2014年度実績に比べて2019年度実績が増加した原因について、何かわかるのであれば教えていただきたい。

#### 【事務局】

1番の原因として考えられるのは養豚である。豚の飼育頭数が、2019年度目標値を設定したときよりも明らかに増加しており、これが一番効いていると考えている。

#### 【井上部会長】

これから次期総量規制の目標値を定めるときに、5年後の目標値を定めるのはなかなか難しいと思うが、適切に予測するようにお願いしたい。

## (3) その他

なし